

変更契約の調書

工	事	名	市道下天保線配水管布設替工事
---	---	---	----------------

当初

工	事	場	所	南陽市	大橋	地内
請	負	業	者	名	赤湯プロパン株式会社	
工	事	種	別	水道施設	工事	
工	事	概	要	施工延長	L=51.2m	

契	約	金	額	4,840,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工		期	着工	令和7年7月31日
			完成	令和7年11月28日

第1回変更

変	更	年	月	日	令和7年11月14日
契	約	金	額	(変更後)	5,720,000円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工		期	完成	令和7年11月28日	
変	更	理	由		

○配水管布設工について
 ・伏越し部の施工について

現地再調査の結果、既設管接続付近に横断暗渠が埋設されていたことからこれを伏越ししなければならなかったため、配管資材及び掘削深さ等について変更し実施したい。

(土被り 当初700mm → 変更1800mm)

また、片側交互通行を確保できる法線で新設管を埋設しなければならなかったため、伏越し部分の掘削側面と既設石綿管 φ 50mmとの離隔が十分確保できず振動等で既設管に影響を与える危険性が高いことから、仮設配管を増工のうえ安全作業に万全を期したい。

・排泥施設について

当初計画では、既設排泥管と同様に市道南側水路に吐出し口を設ける計画をしていたが、現地を再調査したところ現況水路が埋め立てられ既設吐出し口が土中に埋没し、水が流せない状態になっていたことから、市道を横断し北側の水路に吐出し口を設置することに変更し処理したい。

また、当該路線は末端管路であることから、管末排泥弁の位置を調整することが可能であるため、国道交差点付近にあった既設排泥弁よりも東に設置し操作時の安全性を確保したい。併せて、これにより配水管延長51.2mから40.3mに減工のうえ処理したい。

○その他、現地に適合するよう変更し実施したい。